

当院における医療従事者の新型コロナウイルス感染症について

－第4報（最終報告）－

令和2年6月30日 当院の医療従事者1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明した件につきまして、ご報告申し上げます。

濃厚接触のあった入院患者19名、医療従事者12名に対して、7月1日に新型コロナウイルスに対する遺伝子増幅検査（LAMP法）を実施いたしました。濃厚接触の疑いのある医療従事者については、接触後10日間の自宅待機の後、再度LAMP法検査を実施いたしました。全員の陰性を確認しています。またこの間、発熱などの体調不良を訴えた者はありませんでした。さらに7月3日、7月6に当該病棟に勤務する医師、看護師（計66名）の核酸増幅検査を実施し、全員の陰性を確認いたしました。

当院では、これまで職員の入職時や新型コロナウイルスに曝露した可能性のある場合には、その都度核酸増幅検査を実施して感染の有無を確認してまいりましたが、これまで延べ148回の検査で陽性となった職員はありませんでした。

また、6月15～18日に新型コロナウイルス感染症患者に対応してきた医師、看護師、放射線技師、臨床工学技士等を中心に194名を対象として、抗体検査を実施いたしました。全員において陰性を確認しております。

以上の調査結果から、当院で院内感染が起きている可能性はきわめて低いものと判断し、保健所の指導のもと、7月13日より通常の診療体制に戻すことといたしました。

皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけいたしました。今後も職員一丸となって感染防止に尽力して参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月13日
防衛医科大学校病院
病院長 浅野 友彦